

東大阪市支援教育研究会 作品展

東大阪市 支援教育研究会が 毎年開催している支援学級児童・生徒の「作品展」が東大阪市総合庁舎の多目的ホールで、1月23日（土）、24日（日）、25日（月）の三日間行なわれました。これは、東大阪市の支援教育について保護者や地域の方々に理解を深めていただきたいと考え、市内の小中学校の支援学級で学ぶ児童・生徒の絵画・工作・陶芸・手芸・書道などの作品を展示したものです。

今年は、中学校 22 校小学校 51 校と府立八尾支援学校が参加出品しました。見学日に土・日曜日が入っていたことや、地域の方々にも定着してきたため、多くの方々に見てもらうことができました。

感想もたくさん寄せて下さり、「力を合わせた作品に、子ども達の声が聞こえてくるようです。清らかな心にふれて、胸一杯感動しました。」「作品に楽しさと工夫が折り込まれているように感じました。毎日少しずつ頑張ったんだねとほめてあげたいです。作品から元気を分けてもらえたようです。」「障がいのある子ども達が、支援学級の中で生き生きと自分の力を発揮し、主人公になっている様子を作品を見て思いました。」等と書いて下さいました。

三日間という短い期間でしたが、子ども達が日々の学校生活の中で、楽しく制作した作品を多くの方々に見てもらうことができた「作品展」でした。 （東大阪市立 枚岡西小学校 深堀）

